

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-6	小学校	道徳	道徳	第1学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	道徳 104	しょうがくどうとく 1 はばたこうあすへ		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条第1～5号）」の達成を目指し、以下の方針に基づいて編修しました。

次の時代を切り開いていく資質・能力を身に付ける教科書

これからの時代を生きていく児童たちにとっては、自分とは異なるさまざまな価値観や言語、文化を背景とする人たちと相互に尊重し合うことが、今まで以上に重要となります。本教科書では、地域・学校や児童の実態に応じて、こうした資質・能力を身に付けることができるように教科書の構成や教材内容、学習方法の提示を工夫しています。教科書を活用して学習することで、**幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培う**ことができるようにしています。

本教科書では、児童が他者とのコミュニケーションを通して、自分の言葉で表現する力をつけるとともに、自分と異なる意見にも接して、他者と相互に理解し合うことの重要性を確認することができます。また、他者とともに学習するなかでより深く考え、児童一人一人が自分を成長させることができます。このような学習を通して、**個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培う**ことができるようにします。



▲1年 4 きもちのよい せい (pp.12-13)

考え、議論する姿勢を身に付ける教科書

人としての生き方や社会のあり方について、多様な価値観が存在することを認識しつつ、自ら考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を探し続ける資質・能力を身に付けることができるようにしています。このような学習を通して、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うことができるようにしています。



▲1年 8 おふろばそうじ (pp.25-26)

現代的な課題と向き合う教科書

児童をとりまくさまざまな社会的・教育的課題を多く取り上げています。いじめ問題や情報モラルに関する学習を通して、**自他の敬愛と協力を重んじる態度を養う**ことができます。また、かけがえない生命についての学習を通して、**生命を尊び、自然を大切にすること**を、そしてグローバル化が進む社会についての学習を通して、**他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う**ことができるようにしています。



▲1年 19 <りの み (pp.66-67)

問題解決的な学習を重視した教科書

自らの人生や社会において答えが定まっていない問いを受け止め、多様な他者と議論を重ねて探求し、納得できる解答を得るための資質・能力を養うことができます。このような学習を通して、**真理を求める態度を養うこと、そして主体的に社会の形成に参画し、発展に寄与する態度を養うことができるようにしています。**



▲1年 ○学校に ある きまりに ついて かんがえよう・16 きいろい ベンチ (pp.54-55)

2. 対照表

図書の構成・内容と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
どうとくの がくしゅうが はじまるよ どうとくでは こんな がくしゅうをするよ	一年生の道徳の学習に向けての心がまえをもつことで、これからの道徳の学習で、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.2-3 pp.4-5
たのしい がっこう 1 がっこう だいすき 2 たのしい ことが いっぱい	- イラストを題材にして、友達や先生など多くの人と充実した日々を送ろうとする意欲づけをし、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉 - 写真とイラストを題材にして、友達や先生など多くの人と充実した日々を送ろうとする意欲づけをし、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.6-7 pp.8-9
きもちの よい あいさつ 3 あいさつの ことば	イラストを題材にして、さまざまなあいさつの言葉を学び、心のこもったあいさつや礼儀正しい行為の心地よさについて考え、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.10-11
きそく うれしい せいかつ 4 きもちの よい せいかつ 5 ものや おかねを たいせつに 6 かぼちゃの つる	- イラストを題材にして、身のまわりを整えて気もちのよい生活をするための大切さを考え、健やかな身体を養い、自主及び自律の精神を養えるようにしました。〈第1号、2号〉 - イラストを題材にして、ものには役割や命があることを学び、大切に扱ってこうとする意欲を高め、自主及び自律の精神を養えるようにしました。〈第2号〉 - わがままなかぼちゃを題材にして、自分が生き生きと生きるためには他者への配慮が必要であることを学び、自主及び自律の精神を養えるようにしました。〈第2号〉	pp.12-13 pp.14-15 pp.16-19
いつも すなおに 7 くまさんの おちゃかい	はり紙への書き込みから起きたできごとを題材にして、誠実におおらかに過ごすことの大切さを考え、情報モラルを身に付け、正義と責任を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.20-23
じぶんが やるべき こと 〇いま がんばって いる ことは なんだろう 8 おふろばそうじ	- いま努力していることを考えることを通して、自分がやるべきことを知り、自主及び自律の精神を養えるようにしました。〈第2号〉 - おふろばそうじを題材にして、努力を支える気もちに目を向け、自分がやるべきことをしっかりと行うことの大切さを考え、自主及び自律の精神を養えるようにしました。〈第2号〉	p.24 pp.25-27
だいすきな かぞく 9 おじいちゃん だいすき	入院した祖父との手紙のやりとりを題材にして、家族を敬愛し、自分もその一員として進んで役に立つことの大切さを考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.28-31

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
ともだちと なかよく 10 いっしょに かえろう	「友達づくり」を題材にして、友達がいることのよさや友達と仲よくすることの大切さを考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.32-35
11 なかなおり（スキル）	「仲直り」を題材にしたモラルスキルトレーニングを用いて、友達と仲よくすることのよさについて考え、行動化し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.36-39
たいせつな いのち 12 ハムスターの 赤ちゃん	ハムスターの誕生と成長を題材にして、生命の不思議さとその重みを学び、自分の命と重ねることで生命を尊び、自然を大切にすることを養えるようにしました。〈第4号〉	pp.40-43
13 いのちの はじまり	「おへそ」を題材にして、命のはじまりや自分の誕生にかかわる家族の思いについて考え、生命を尊ぶ態度を養えるようにしました。〈第4号〉	pp.44-45
14 生きて いる じぶん	「生きている証」を実感できるアクティビティを通して、生きていることの素晴らしさについて考え、生命を尊ぶ態度を養えるようにしました。〈第4号〉	pp.46-47
しぜんと ふれあう 15 たのしかった ハイキング	ハイキングでの自然体験を通して、身近な自然の中に季節の移り変わりや営みを見つける感性を育て、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。〈第4号〉	pp.48-53
しまりを まもって ○学校に ある きまりに ついて かんがえよう	学校にあるきまりを題材にして、規則を大切に暮らしていくことの大切さについて考え、正義と責任を重んじ、公共の精神に基づいた態度を養えるようにしました。〈第3号〉	p.54
16 きいろい ベンチ	公園のできごとを題材にして、規則を大切に暮らしていくことの大切さについて考え、正義と責任を重んじ、公共の精神に基づいた態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.55-57
よいと おもう ことを すすんで 17 ダメ！	絵本作品を通して、よいと思ったことは進んで行おうとすることのよさについて考え、自主及び自律の精神を養えるようにしました。〈第2号〉	pp.58-63
18 なんて いったら よいのかな （スキル）	やるとよいこととやってはいけないことを、具体的な場面を設定して考えることで、善悪を正しく区別できる判断力を養い、自主及び自律の精神を養えるようにしました。〈第2号〉	pp.64-65
あたたかい ところで 19 くりの み	寒いなか食べ物を探すウサギとキツネの話を題材にして、人に優しい気持ちで接することの大切さについて考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.66-69
20 はしの 上の おおかみ	一本橋のできごとを題材にして、人に優しい気持ちで接することの大切さについて考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.70-75
21 ねずみくんの きもち	絵本作品を通して、人に親切にすることの大切さについて考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.76-79
ありがとうの 気持ち 22 おとうさん ありがとう	父と子のある日のできごとを題材にして、日ごろお世話になっている人々に感謝することの大切さを考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.80-83
わたしの よさ 23 わたしの よい ところ	クラスの友達のよさみつけを通して、自分のよさについても気付き、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培えるようにしました。〈第2号〉	pp.84-85
24 すきな ものを 見つけよう （澤穂希）	澤穂希さんとサッカーの話をを通して、自分のよさや長所について考え、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培えるようにしました。〈第2号〉	pp.86-89
はたらく ことの よさ 25 森の ゆうびん屋さん	森のゆうびん屋さんや仲間たちのやりとりを通して、みんなのために働くことのよさについて考え、勤労を重んずる態度を養えるようにしました。〈第2号〉	pp.90-94
26 こくばんとうばん	生活場面での当番の仕事を題材にして、みんなのために働くことのよさについて考え、勤労を重んずる態度を養えるようにしました。〈第2号〉	pp.95-99
だれとでも 27 みんなが えがおに	言葉には相手を傷つけたり励ましたりする力があることを学ぶとともに、誰に対しても公正、公平に接することのよさを考え、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.100-101
すがすがしい ところ 28 七つの ほし	トルストイの民話を題材にして、人間の世界を超えた美しいもの、気高いものに接することで、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.102-105

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
くにな ふるさとに したしむ 29 日本の ぎょうじ	日本の年中行事を題材にして、自分が住む国や地域のよさについて考えることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました。〈第5号〉	pp.106-109
せかいの 人たちに したしむ 30 せかいの あいさつ	あいさつの言葉「こんにちは」を題材にして、国によってさまざまな違いがあることを学び、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。〈第5号〉	pp.110-111
たのしい がっこう 31 光和小の さくらの 木	校庭のさくらの木とのかかわりを題材にして、充実した学校生活を送ろうとする意欲づけをし、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.112-117
しぜんと ふれあう 32 赤とんぼ	夏休みのとんぼ捕りを題材にして、動植物のもつ不思議さや生命の力について考え、生命を尊び、自然を大切にすることを養えるようにしました。〈第4号〉	pp.118-119
すがすがしい ところ 33 見上げて みよう よるの 空	夜空にうかぶ星を題材にして、身近な自然など美しいものに触れたときの気持ちよさについて考え、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.120-121
くにな ふるさとに したしむ 34 がんばれ まごべえ	牛の角突きを題材にして、自分が住む地域のよさについて考えることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました。〈第5号〉	pp.122-123
学びの きろく 一年かんの どうとくの 学しゅうを ふりかえろう	一年間の道徳の学習を振り返ることで、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.124-126 p127
みに つけよう れいぎ・マナー	身近な礼儀とマナーを折込資料としてまとめることで、それらの定着を図り、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.129-130

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法第五条に示す義務教育の目的や学校教育法第二十一条に示す義務教育の目標などを達成するため、以下の点について編修上の工夫をしました。

礼儀やマナーの確実な定着

巻末には「おじぎ」「礼儀正しい姿勢」「家でのマナー」「学校でのマナー」「安全のマナー」を掲載した折込資料を設け、礼儀やマナーの確実な定着を目指しました。

ユニバーサルデザイン（UD）による多様性への配慮

○カラーユニバーサルデザイン（CUD）や特別支援教育への対応

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、全ての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

○「パラリンアート」の取り組み

さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより、「パラリンアート」の活動支援にも取り組んでいます。

地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-6	小学校	道徳	道徳	第1学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	道徳 104	しょうがくどうとく 1 はばたこうあすへ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

○学びやすい

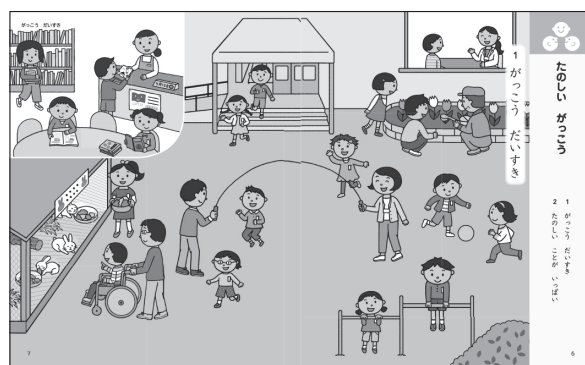
内容項目との関連が明確になっていますので、先生も児童も教材の主題を意識して授業に臨むことができます。

○多様性の重視

さまざまな考え方をもちた児童の立場を考慮して、多面的・多角的に考えられる教材を数多く用意しました。自分の考えを述べて、友達の考えを聞いて、みんなで話し合う充実した道徳の授業を行うことができます。

○楽しく学べる紙面

楽しく円滑な授業が行えるように、見開きに1点はイラストや写真を用いています。イラストは教材の特徴に合わせ、児童が教材の内容をイメージしやすいよう配慮して作成しています。



▲1年 1 がっこう だいすき (pp.6-7)

教科書の全体構成

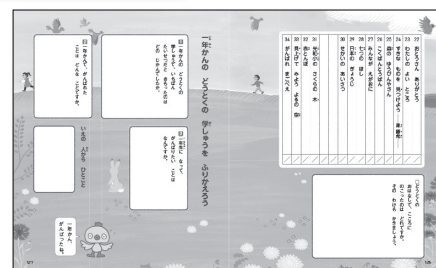
○道徳開きと振り返り

巻頭には道徳開きのページを4ページ設けました。一年間の道徳授業の最初に、現在の自分を知ることから始めます。いちばん大切なことを考えることから一年間の道徳の授業が始まります。次のページでは、道徳の授業でどのような学習をするのかを確認し、授業のイメージができるようにします。また、巻末には振り返りのページを設けました。一年間の道徳の学習で



◀1年 どうとくの がくしゅうが はじまるよ (pp.2-3)

1年 学びの きろく ▶
一年かんの どうとくの
学しゅうを ふりかえろう
(pp.126-127)



いちばん大切だと思ったことを記入することで、心の成長をみとることができます。そして次の学年に進級したときになりたい自分を想定して、次の学年へと道徳の学習をつないでいきます。

○教材

教材は内容項目ごとにまとめて掲載しています。学年のはじめは自分自身に関する教材を多く配置するなど、児童の発達段階を考慮した配列にしています。また、小学校の年間行事（運動会、遠足、発表会など）と関連させて指導ができるよう配置しています。

多様で体験的な学習ができるようにモラルスキルトレーニングを各所に取り入れました。また、読み物教材にも役割演技を取り入れるなど教材内容に工夫を施しました。

○導入（学習のねらい）の明確化

教材ごとにキャラクター（とりどり先生）による導入（主題への誘い）を設けました。教材を読む前に、どのような価値について学習するのか、どんなことを考えるのかを意識できるようにした気づきの発問です。

○学びの手びき

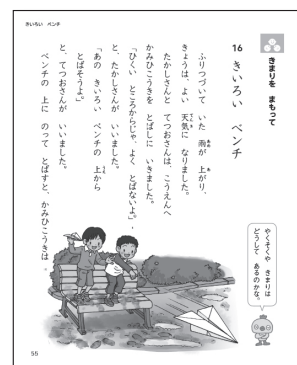
授業の学びの流れを可視化した発問を教材ごとに設けました。教材本文をもとにして考え議論する問いとしての「かんがえよう」から、道徳的価値そのものへの問い、価値理解を深めることができる設問としての「ふかめよう」、今後の行動や他教科と連携した発展的な学習につながる「つなげよう」で構成しています。また、役割演技をすることによって道徳的価値の理解をより深めることを目指す「やってみよう」は「かんがえよう」の一項目として設け、児童が考えるヒントとなるキャラクターの発言なども記載しました。手びきの発問は、教科書全体を通して問題解決的な学習ができるように作成しています。

○補充教材

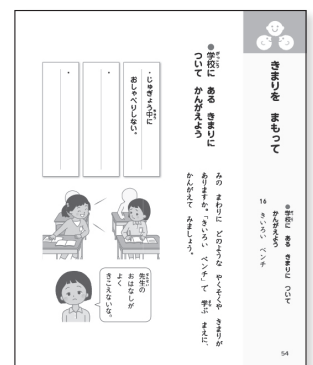
それぞれの道徳的な価値の理解をより深めるための補充教材を巻末に4本用意しました。学校や地域の実態を考慮して、弾力的に活用することができます。



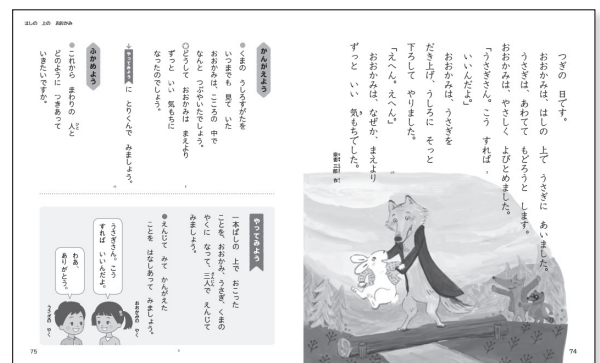
▲1年 11 なかなかおり (pp.36-37)



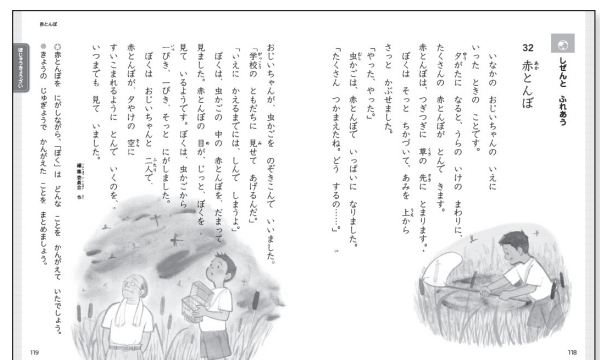
▲1年 16 きいろい ベンチ (p.55)



▲1年 〇学校にある きまりについて かんがえよう (p.54)



▲1年 20 はしの 上のおおかみ (pp.74-75)

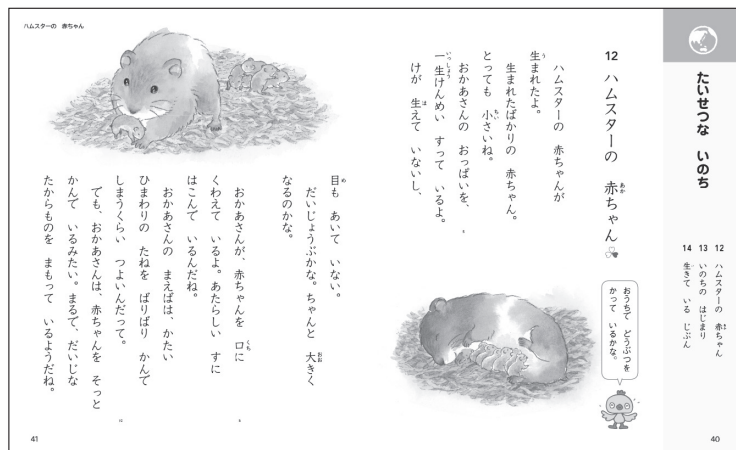


▲1年 32 赤とんぼ (pp.118-119)

題材の特色 1年

○道徳の授業で繰り返し指導されてきた教材

長く教育現場で指導され、親しまれてきた教材（定番教材）を厳選して掲載しています。



▲1年 12 ハムスターの 赤ちゃん (pp.40-41)

定番教材以外にも、良質な自作教材を多数掲載しています。

この他の定番教材

- 6 かぼちゃの つる (pp.16-19)
- 8 おふろばそうじ (pp.25～27)
- 15 たのしかった ハイキング (pp.48-53)
- 16 きいろい ベンチ (pp.55-57)
- 19 くりの み (pp.66-69)
- 20 はしの 上のおおかみ (pp.70-75)
- 25 森の ゆうびん屋さん (pp.90-94)
- 28 七つの ほし (pp.102-105)

○現代的な課題などに対応する多様な教材

現代的な課題に対応するための教材として、「いじめをなくす」「情報モラル」「生命尊重」の3点は特に重きをおき、該当する教材には目次と教材にマークをつけてわかりやすく示しました。

また、教科書全体を通して、多様な教材を掲載しています。

・生命の尊厳

- 12 ハムスターの 赤ちゃん (pp.40-43)
- 13 いのちの はじまり (pp.44-45)
- 14 生きて いる じぶん (pp.46-47)
- 32 赤とんぼ (pp.118-119)

・自然

- 15 たのしかった ハイキング (pp.48-53)
- 32 赤とんぼ (pp.118-119)

・伝統と文化

- 29 日本の ぎょうじ (pp.106-109)
- 30 せかいの あいさつ (pp.110-111)
- 34 がんばれ まごべえ (pp.122-123)

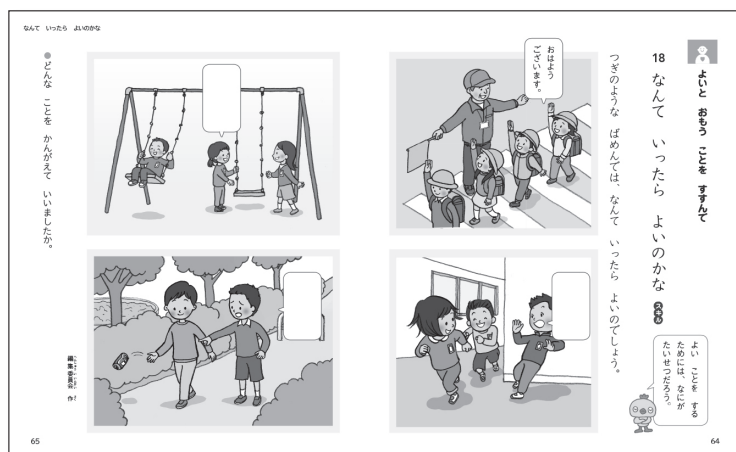
・先人の伝記・スポーツ

- 24 すきな ものを 見つけよう (pp.86-89)

・情報化への対応

- 7 くまさんの おちゃかい (pp.20-23)

○体験的な学習のできる教材



▲1年 18 なんて いったら よいかな (pp.64-65)

他にも体験的な学習ができる教材を多数掲載しました。

- 1 がっこう だいすき (pp.6-7)
- 2 たのしい ことが いっぱい (pp.8-9)
- 3 あいさつの ことば (pp.10-11)
- 4 きもちの よい せいかつ (pp.12-13)
- 5 ものや おかねを たいせつに (pp.14-15)
- 7 くまさんの おちゃかい (pp.20-23)
- 11 なかなおり (pp.36-39)
- 13 いのちの はじまり (pp.44-45)
- 14 生きて いる じぶん (pp.46-47)
- 20 はしの 上のおおかみ (pp.70-75)
- 27 みんなが えがおに (pp.100-101)

2. 対照表

図書の構成・内容と学習指導要領の内容との対応を示します。

- A 主として自分自身に関すること
- B 主として人との関わりに関すること
- C 主として集団や社会との関わりに関すること
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
どうとくの がくしゅうが はじまるよ どうとくでは こんな がくしゅうを するよ	全般	pp.2-3 pp.4-5	—
たのしい がっこう 1 がっこう だいすき 2 たのしい ことが いっぱい	C [よりよい学校生活, 集団生活の充実] 先生を敬愛し, 学校の人々に親しんで, 学級や学校の生活を楽しくすること。	pp.6-7 pp.8-9	2
きもちの よい あいさつ 3 あいさつの ことば	B [礼儀] 気持ちのよい挨拶, 言葉遣い, 動作などに心掛けて, 明るく接すること。	pp.10-11	1
きそくたしい せいかつ 4 きもちの よい せいかつ 5 ものや おかねを たいせつに 6 かぼちゃの つる	A [節度, 節制] 健康や安全に気を付け, 物や金銭を大切にし, 身の回りを整え, わがままをしないで, 規則正しい生活をする。	pp.12-13 pp.14-15 pp.16-19	3
いつも すなおに 7 くまさんの おちゃかい	A [正直, 誠実] うそをついたりごまかしをしたりしないで, 素直に伸び伸びと生活すること。	pp.20-23	1
じぶんが やるべき こと ○いま がんばって いる ことは なんだろう 8 おふろばそうじ	A [希望と勇気, 努力と強い意志] 自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。	p.24 pp.25-27	1
だいすきな かぞく 9 おじいちゃん だいすき	C [家族愛, 家庭生活の充実] 父母, 祖父母を敬愛し, 進んで家の手伝いなどをして, 家族の役に立つこと。	pp.28-31	1
ともだちと なかよく 10 いっしょに かえろう 11 なかなおり (スキル)	B [友情, 信頼] 友達と仲よくし, 助け合うこと。	pp.32-35 pp.36-39	2
たいせつな いのち 12 ハムスターの 赤ちゃん 13 いのちの はじまり 14 生きて いる じぶん	D [生命の尊さ] 生きることのすばらしさを知り, 生命を大切にすること。	pp.40-43 pp.44-45 pp.46-47	3
しぜんと ふれあう 15 たのしかった ハイキング	D [自然愛護] 身近な自然に親しみ, 動植物に優しい心で接すること。	pp.48-53	1
きまりを まもって ○学校に ある きまりに ついて かんがえよう 16 きいろい ベンチ	C [規則の尊重] 約束やきまりを守り, みんなが使う物を大切にすること。	p.54 pp.55-57	1
よいと おもう ことを すすんで 17 ダメ! 18 なんて いったら よいのかな (スキル)	A [善悪の判断, 自律, 自由と責任] よいことと悪いこととの区別をし, よいと思うことを進んで行うこと。	pp.58-63 pp.64-65	2

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
あたたかい ところで 19 くりの み 20 はしの 上の おおかみ 21 ねずみくんの きもち	B【親切, 思いやり】 身近にいる人に温かい心で接し, 親切にすること。	pp.66-69 pp.70-75 pp.76-79	3
ありがとうの 気持ち 22 おとうさん ありがとう	B【感謝】 家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。	pp.80-83	1
わたしの よさ 23 わたしの よい ところ 24 すきな ものを 見つけよう (澤穂希)	A【個性の伸長】 自分の特徴に気付くこと。	pp.84-85 pp.86-89	2
はたらく ことの よさ 25 森の ゆうびんやさん 26 こくばんとうばん	C【勤労, 公共の精神】 働くことのよさを知り, みんなのために働くこと。	pp.90-94 pp.95-99	2
だれとでも 27 みんなが えがおに	C【公正, 公平, 社会正義】 自分の好き嫌いとらわれないで接すること。	pp.100-101	1
すがすがしい ところ 28 七つの ほし	D【感動, 畏敬の念】 美しいものに触れ, すがすがしい心をもつこと。	pp.102-105	1
くにや ふるさとに したしむ 29 日本の ぎょうじ	C【伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度】 我が国や郷土の文化と生活に親しみ, 愛着をもつこと。	pp.106-109	1
せかいの 人たちに したしむ 30 せかいの あいさつ	C【国際理解, 国際親善】 他国の人々や文化に親しむこと。	pp.110-111	1
たのしい がっこう 31 光和小の さくらの 木	C【よりよい学校生活, 集団生活の充実】 先生を敬愛し, 学校の人々に親しんで, 学級や学校の生活を楽しくすること。	pp.112-117	1
しぜんと ふれあう 32 赤とんぼ	D【自然愛護】 身近な自然に親しみ, 動植物に優しい心で接すること。	pp.118-119	1
すがすがしい ところ 33 見上げて みよう よるの 空	D【感動, 畏敬の念】 美しいものに触れ, すがすがしい心をもつこと。	pp.120-121	1
くにや ふるさとに したしむ 34 がんばれ まごべえ	C【伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度】 我が国や郷土の文化と生活に親しみ, 愛着をもつこと。	pp.122-123	1
学びの きろく 一年かんの どうとくの 学しゅうを ふりかえろう	全般	pp.124-126 p127	—
みに つけよう れいぎ・マナー 1 おじぎ 2 れいぎ正しい しせい 3 いえでの マナー 4 学校での マナー 5 あんぜんの マナー	B【礼儀】 気持ちのよい挨拶, 言葉遣い, 動作などに心掛けて, 明るく接すること。	pp.129-130	—
		計	34